



ハムスターのお母さんは、赤ちゃんを食べるの

不安やストレスがあると、子どもを食べる

ハムスターだけではなく、ネコやウサギなどでも、初めて赤ちゃんを産んだお母さんが子どもを食べてしまうことがあります。赤ちゃんを産んだばかりのお母さんは、とても神経質になっています。そのため、人間がのぞいたり、赤ちゃんにさわったり、まわりがうるさかったりなど、お母さんの神経を、いらいらさせることがあると、子どもを食べてしまう場合があるのです。

お乳が出ないとき食べる

ハムスターの赤ちゃんは、生まれて3週間ぐらいいは、お母さんのお乳を飲んで育ちます。ハムスターは、いちどに8ぴきぐらい子どもを産みます。8ぴきもの赤ちゃんにお乳をあたえている間、お母さんハムスターの体は、水分がたくさんいります。ですから、お母さんハムスターにたっぷり水や、水分の多いえさをあたえないと、お乳が出なくなります。お乳が出なくなると、子どもを食べてしまうようなことがあります。飼うときには、気をつけてあげましょう。

赤ちゃんが生まれたばかりのときは、そっとしておく

ハムスターは、交尾してから15日めに出産します。このころには、できるだけ静かな所に、飼育かごをおいてやります。とくに、出産後1週間ぐらいいはそっとしておけるよう、えさや水を、1週間分たっぷり入れておいてやりましょう。この間、そうじの必要はありません。(監修・今泉 忠明)

